○奈良県警察音楽隊員の服制等に関する訓令

(令和2年1月17日本部訓令第1号)

奈良県警察音楽隊員の服制に関する訓令(昭和59年3月奈良県警察本部訓令第5号)の全部を改正する。

(目的)

第1条 この訓令は、奈良県警察音楽隊員(奈良県警察音楽隊の設置及び運営に関する訓令(昭和38年2月奈良県警察本部訓令第1号)第5条の3第1項の規定により指名された奈良県警察職員をいう。以下「隊員」という。)の服制並びに被服及び装備品(以下「被服等」という。)の貸与に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(制式等)

第2条 隊員の被服等のうち別表第1に掲げるものの色、地質又は材質及び制式は、同表のとおりとする。

2 隊員の被服等のうち別表第2に掲げるものの色、地質又は材質及び制式は、同表のとおりとする。

(着用期間)

第3条 次の表の左欄に掲げる被服の着用期間は、それぞれ同表の右欄に掲げる期間とする。ただし、警務部県民サービス課長(以下「県民サービス課長」という。)は、必要と認めるときは、警察本部長の承認を得て、これを変更することができる。

冬演奏服、冬演技服、冬演奏帽、冬演技帽、冬略帽及び冬ネクタイ	12月1日から翌年3月31日まで
合演奏服、合演技服、夏演奏帽、合演技帽、合略帽及び合ネクタイ	4月1日から5月31日まで及び10月1日から11月30日まで
夏演奏服、夏演技服、夏演奏帽及び夏略帽	6月1日から9月30日まで

(服装等)

第4条 隊員(カラーガード隊の隊員を除く。)は、演奏に従事する場合は、演奏服、演奏帽、ワイシャツ、ネクタイ、ベルト及び靴を着用し、音楽隊員章を着装するものとする。

2 カラーガード隊の隊員は、演技に従事する場合は、演技服、演技帽、ワイシャツ、ネクタイ及びブーツを着用するものとする。

3 楽長は、演奏場所、演奏内容又は天候等により必要と認めるときは、前2項に定める服装等について変更することができる。

(管理)

第5条 隊員の被服等は、奈良県警察官の被服の支給及び装備品の貸与に関する条例（昭和29年6月奈良県条例第25号）第4条に規定する特殊の被服等又は奈良県警察職員の被服等の貸与に関する訓令（昭和44年12月奈良県警察本部訓令第14号）に規定する被服等として調製し、県民サービス課長が管理するものとする。

(返納)

第6条 隊員の指名を解除された者は、速やかに貸与された被服等を県民サービス課長に返納しなければならない。

(被服等貸与簿)

第7条 県民サービス課長は、被服等貸与簿（別記様式第1号及び別記様式第2号）を備え付け、被服等の貸与の状況を明らかにしておかなければならない。

附 則

(施行期日)

1 この訓令は、令和2年1月17日から施行する。

(奈良県警察職員の被服等の貸与に関する訓令の一部改正)

2 奈良県警察職員の被服等の貸与に関する訓令の一部を次のように改正する。

[次のよう略]

(別表等省略)